

# CCD バーコードスキャナ

## MS250

### ユーザーマニュアル



取扱説明書

---

Version 3.2

## 改訂履歴

Version	発行日	改訂履歴
3.0	2014年10月1日	● 内容を改訂し新版としてリリース
3.1	2015年9月7日	● <a href="#">冗長チェック</a> の表現を修正
3.2	2020年1月10日	● 初期不良について追補

## 本マニュアルについて

本マニュアルは、MS250 CCD バーコードスキャナのインストール、操作、そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社からの書面による許可なしで、いかなる形式でも、電子的あるいは機械的を問わず複製することはできません。これは、 photocopy、レコーディング、あるいは情報の保存と検索システム等の電気的もしくは機械的な方法を含んでいます。

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© Copyright 2015 Unitech Electronics Co., Ltd. すべての著作権は Unitech 社が保有しています。

Unitech グローバル Web サイトアドレス: <http://www.ute.com>

ユニテック・ジャパン Web サイトアドレス: <http://jp.ute.com>

## 各認証について

### VCCI について

本製品は、第三者機関による VCCI 適合確認試験に合格しております。  
本製品の適合クラスは「VCCI クラス B」です。

### RoHS について



本装置は欧州連合の規定である電子機器で使用される有害物質の含有についての制限（Reduction Of Hazardous Sub-stances、RoHS）に適合しております。

## 保証期間

当社のメーカー標準保証は、以下の保証期間中に通常の使用状況で発生した故障に対して適用されます。

- スキャナ本体 — 2年間
- ケーブルなどを含むその他アクセサリ類 — 3ヶ月

保証は、機器の改造、不適切な取付や使用、事故または不注意による落下等における損傷、あるいは何らかのパーツが不適切に取り付けられていたり、もしくはユーザーによってパーツを交換されていたりした場合は対象外となります。

## 初期不良について

当社の初期不良対応期間は、ご購入後2週間です。これはご購入後使用していなかった期間も含まれます。  
ご購入後初期不良を確認した場合は、速やかにご購入いただいた代理店／販売店へご連絡ください。

初期不良の場合は、以下の場合を除き、原則、製品交換にて対応させていただきます。

- ご購入時の製品状態（本体、アクセサリ、マニュアル、梱包箱など）から欠品がある場合
- 使用者による破損など、通常保証の範囲外となる場合

# 目次

1. パッケージ内容.....	7
2. スキャナ詳細 .....	8
MS250 本体 各部名称 .....	8
LED インジケータとビープ音 .....	8
3. はじめに.....	9
USB ケーブルでの接続例.....	9
RS232C ケーブルでの接続例 .....	10
キーボードウェッジケーブルでの接続例 .....	10
4. 仕様.....	11
5. 設定コマンド .....	13
設定方法について.....	13
設定例 1 基本的な設定例.....	14
設定例 2 先頭ゼロの JAN-13 コードを読取る .....	15
設定例 3 Codabar/NW-7 の 4 桁目以降から出力する .....	16
設定例 4 データの先頭に「ESC」を挿入する .....	17
設定例 5 Code128 の読取り可能な最小桁数を変更する.....	18
設定例 6 Code39 の読取り可能な桁数を固定する.....	19
5.1. システム設定.....	20
5.2. インターフェース設定 .....	21
5.3. キーボード設定 .....	22
キーボードレイアウト .....	22
Caps Lock 検知.....	22
大文字/小文字の変換 .....	22
文字間遅延 .....	22
テンキーパッドエミュレーション .....	22
5.4. RS232C 設定 .....	24
通信速度 .....	24
データビット .....	24
ストップビット.....	24
パリティ .....	24
ハンドシェイク .....	24
5.5. スキャナ動作設定.....	26
送信データフォーマットについて .....	26
コード ID.....	26

サフィックス.....	26
スキャンモード.....	26
ビーブ音.....	26
冗長チェック.....	27
同一バーコードの読取り間隔.....	27
コード ID 一覧表.....	27
<b>5.6. バーコード読取設定.....</b>	<b>30</b>
バーコード設定初期値一覧表.....	30
全てのバーコードの読取り.....	32
白黒反転バーコードの読取り.....	32
各バーコードシンボル読取り可能な最小桁数.....	32
Code39.....	34
Code93.....	37
Code128/GS1-128.....	39
UPC/JAN.....	41
Codabar/NW-7.....	45
Interleaved 2 of 5 (ITF).....	48
Industrial 2 of 5.....	50
Matrix 2 of 5.....	52
Code11.....	54
MSI/PLESSEY.....	56
GS1 Databar.....	58
<b>6. データ編集機能.....</b>	<b>62</b>
<b>6.1. 反転出力.....</b>	<b>62</b>
<b>6.2. 文字削除.....</b>	<b>63</b>
<b>6.3. 文字挿入.....</b>	<b>66</b>
<b>6.4. データ編集設定の消去（文字削除）.....</b>	<b>69</b>
<b>6.5. データ編集設定の消去（文字挿入）.....</b>	<b>70</b>
<b>7. ASCII テーブル.....</b>	<b>71</b>
制御コード.....	71
アルファベット（大文字）.....	72
アルファベット（小文字）.....	73
数字.....	74
記号文字.....	75
ファンクションキー.....	76
拡張キー.....	77
<b>8. 数字バーコード.....</b>	<b>78</b>
<b>9. テストバーコード.....</b>	<b>79</b>

# 1. パッケージ内容

MS250 の製品箱には以下の内容物が入っています。もしも内容物の不足や破損を見つけた場合は、ご購入いただいた販売店へご連絡ください。

		
<p>スキャナ本体</p>	<p>保証書</p>	<p>ユーザー登録カード</p>
		
<p>USB ケーブル (USB モデル)</p>	<p>RS232C ケーブル (オプション)</p>	<p>キーボードウェッジケーブル (オプション)</p>
		
<p>AC アダプタ (RS232C ケーブル用)</p>		

## 2. スキャナ詳細

### MS250 本体 各部名称



### LED インジケータとビープ音

	LED	ビープ音
・電源 ON	緑緑緑—緑緑緑	ピピピー—ピピピ
・バーコード読取成功	緑	ピ
・設定開始 ・設定終了 ・設定中止 ・設定保存	緑緑緑	ピピピ
・設定中—設定エラー	緑緑	ピピ
・設定中—設定成功	緑	ピ
・バーコード送信エラー	緑・緑	ピ・ピ

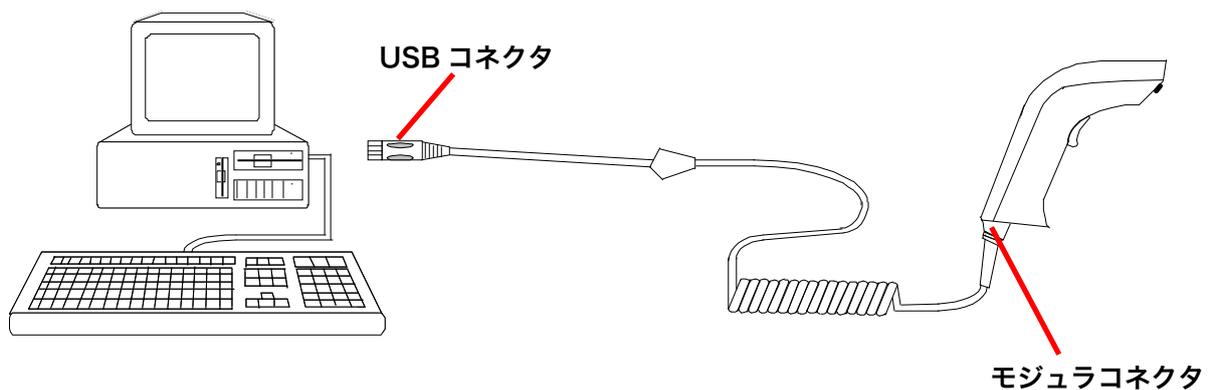
## 3. はじめに

### USB ケーブルでの接続例

モジュラコネクタをスキャナに接続し、その後 USB コネクタをホストに接続してください。通常、モジュラコネクタはスキャナに接続された状態で出荷されています。

スキャナの標準設定は「USB モード」となっています。ホストの OS が USB HID キーボードをサポートしている場合、最初の接続時に OS 標準のドライバが自動でインストールされます。

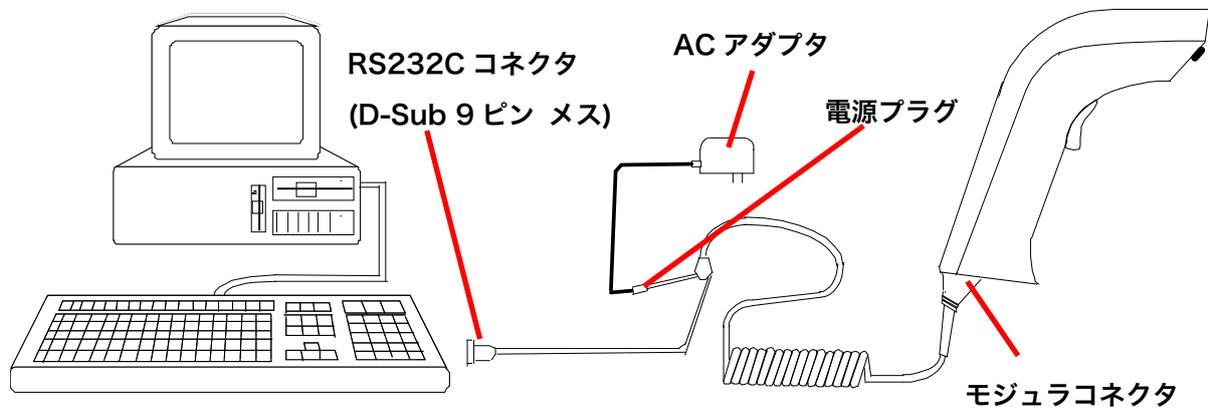
USB インターフェースを「USB 仮想 COM モード」に変更した場合は、専用ドライバのインストールが必要です。ドライバのダウンロードやインストールについては、弊社 Web ページから閲覧可能な「USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアル Vx.x」をご参考ください。



注 上記の図は一例です。ケーブルの形状など異なる場合がありますが、USB ケーブルでの接続ステップは同じです。

## RS232C ケーブルでの接続例

モジュラコネクタをスキャナに接続し、その後 RS232C コネクタをホストに接続してください。最後に電源プラグを RS232C ケーブルの二股に分かれたジャックに接続し、AC アダプタをコンセントに接続してください。

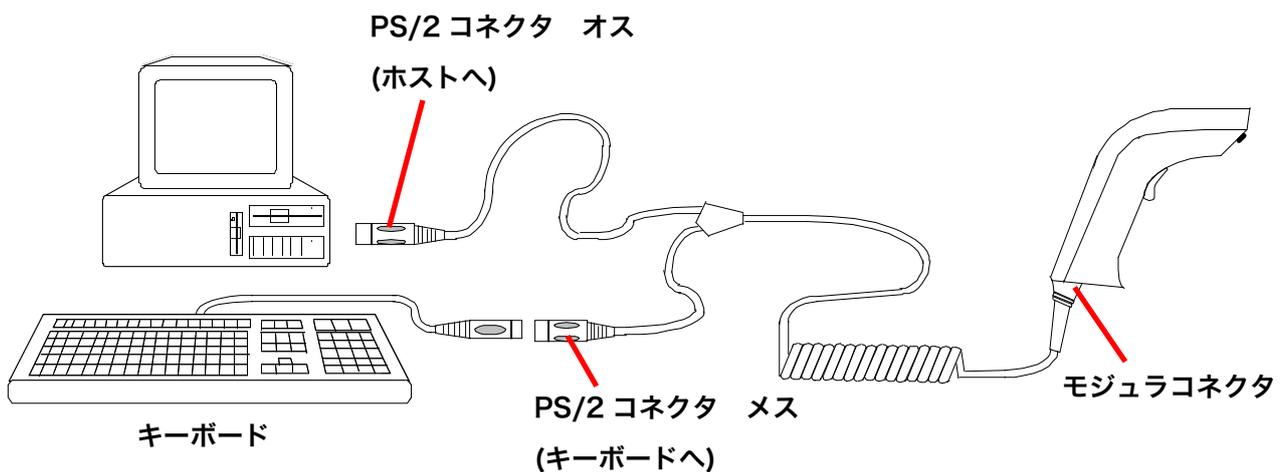


注 上記の図は一例です。ケーブルの形状など異なる場合があります。

注 RS232C ポートの 9 番ピンに 5V 電源が供給されている場合は、AC アダプタからの電力供給は必要無い場合があります。

## キーボードウェッジケーブルでの接続例

モジュラコネクタをスキャナに接続し、その後 PS/2 コネクタ (メス) をキーボードに接続してください。最後に 2 股に分かれた PS/2 コネクタ (オス) をホストのキーボードコネクタへ接続してください。



注 上記の図は一例です。ケーブルの形状など異なる場合があります。

## 4. 仕様

### 光学系と性能

光学デバイス	リニア CCD センサ
光源	可視赤色光 635 nm LED
最大分解能	0.076 mm @ PCS 90 %
PCS	45 %
スキャン速度	200 スキャン/秒 ± 10 %
スキャン角度	前後方向 ± 10°~30° (± 5°) 左右方向 ± 60° (± 5°) ※テスト条件：Code 39、10 mil/0.25 mm、PCS 90 %
読取り幅	80 mm
読取り距離	90 mm まで ※テスト条件：Code39、20 mil/0.5 mm、PCS 90 % ※距離はバーコードの幅によります。

### 機能

1次元シンボル	Code 32、Code 39、Code 93、Code 128、GS1-128、UPC、JAN、Codabar/NW7、Interleaved 2 of 5、Industrial 2 of 5、Matirx 2 of 5、Code 11、MSI/PLESSEY、GS1 Databar シリーズ、
動作モード	トリガ、1 プレス 1 スキャン、連続、点滅
データ編集	サフィックス、コード ID、データ編集 (削除・挿入)
設定方法	設定用バーコード

### 電源

動作電圧	DC 5V
消費電流	動作中：<120 mA、スタンバイ中：<20 mA

## 外観

材質	ABS
スキャナ寸法	長 163.3 X 幅 79 X 高 62.5 mm
スキャナ重量	83 g (ケーブル除く)
トリガー寿命	1,000,000 回

## 環境条件

ESD 保護	8K コンタクトおよび 12K エア、テスト後正常動作
落下テスト	1.5 m からコンクリート床 (スキャナ本体のみ) *1
動作温度範囲	0 °C から 50 °C
保存温度範囲	-20 °C から 70 °C
相対湿度	20 % から 95 % 結露無いこと

\*1 弊社テスト基準に基づく落下試験における実験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。

## インターフェース

ホストインターフェース	USB、USB 仮想 COM、RS232C (D-Sub 9 ピン)、PS/2 (キーボードウェッジ)
-------------	---

## 認証

認証	CE、FCC、BSMI、VCCI クラス B
----	------------------------

## アクセサリ

アクセサリ	USB ケーブル RS232C ケーブル キーボードウェッジケーブル AC アダプタ ホルダー (置き台)
-------	---

## 5. 設定コマンド

### 設定方法について

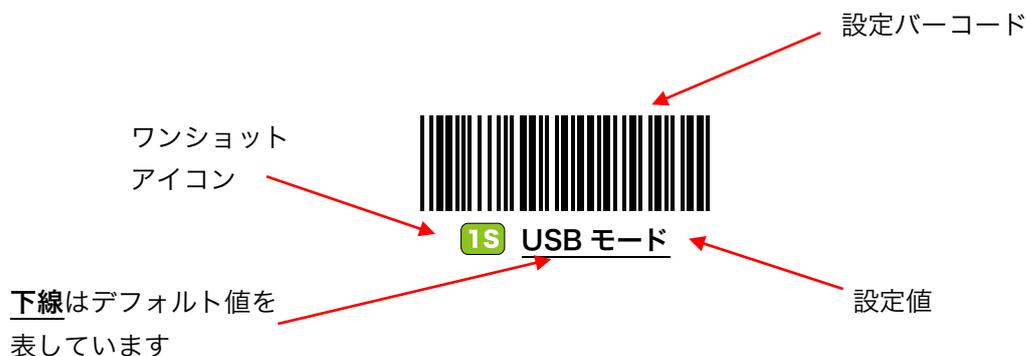
MS250 は、専用の設定バーコードを読み込ませることで設定の変更を行います。変更された設定は「設定保存」を行なうことで不揮発性メモリに保存され、スキャナの電源を切っても設定は保持されます。

スキャナの設定を変更するには、以下の手順でバーコードを読み込ませてください。

- ① 「設定開始」バーコード（20 ページ）を読取ります。
- ② 設定したい対象の設定バーコードを読取ります。
- ③ 「設定終了」バーコード（20 ページ）を読取ります。
- ④ 「設定保存」バーコード（20 ページ）を読取ります。

注 「設定開始」「設定終了」「設定保存」の各バーコードは、各設定ページの上下にも掲載されています。

設定バーコードの仕様については、次の例図をご参照ください



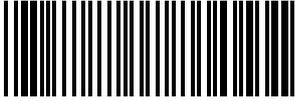
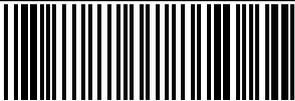
#### ワンショットアイコン (1S) について：

ワンショットアイコンが表示されている設定値は、「設定開始」「設定終了」を必要とせず、単に読取るだけで設定変更が可能です。従来通りの「設定開始」—「設定終了」を使用した設定も可能です。

## 設定例 1 基本的な設定例

本設定では以下の項目が変更されます。

- キーボードレイアウト (22 ページ) : 英語キーボード→日本語キーボード
- 冗長チェック (27 ページ) : しない→3 回
- ビープ音の音程 (26 ページ) : 高音→中音

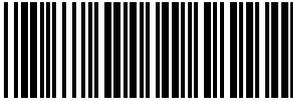
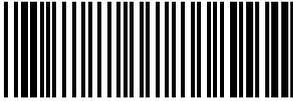
① 設定値の初期化	  工場出荷デフォルト
② 設定開始	 設定開始
③ キーボードレイアウトを日本語へ変更	 日本語キーボード
④ 誤読防止に冗長チェックを 3 回に変更	 3 回
⑤ ビープ音の音程を中音へ変更	  中
⑥ 設定終了	 設定終了
⑦ 現在の設定を保存	  設定保存

## 設定例 2 先頭ゼロの JAN-13 コードを読取る

先頭がゼロの JAN コードを読取ったとき、先頭のゼロが消滅して 12 桁のコードになる場合は、本設定を行なうことで正常な 13 桁の JAN コードとして読取ることが可能になります。

本設定では以下の項目が変更されます。

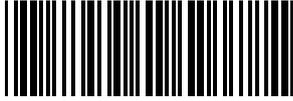
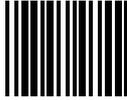
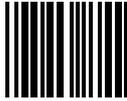
- [UPC/JAN](#) (41 ページ) : UPC-A を JAN-13 に拡張しない→拡張する

① 設定開始	 設定開始
② UPC-A を JAN-13 に拡張	 有効
③ 設定終了	 設定終了
④ 現在の設定を保存	  設定保存

### 設定例 3 Codabar/NW-7 の 4 桁目以降から出力する

本設定では以下の項目が変更されます。

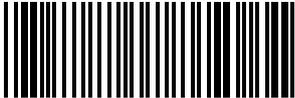
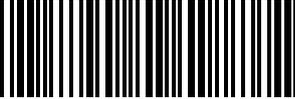
- [データ編集文字削除](#) (63 ページ) : データ編集しない→Codabar/NW-7 のみ先頭 3 文字を削除する

① 設定開始	 設定開始
② 文字削除セット 1 を選択	 セット 1
③ 文字削除シンボルを Codabar に設定	 Codabar (NW-7)
④ 削除開始位置を 1 文字目に設定	 1
⑤ 削除開始位置の設定を確認	 削除位置 設定完了
⑥ 削除文字数を 3 文字に設定	 3
⑦ 削除文字数の設定を確認	 削除文字数 設定完了
⑧ 設定終了	 設定終了
⑨ 現在の設定を保存	  設定保存

## 設定例 4 データの先頭に「ESC」を挿入する

本設定では以下の項目が変更されます。

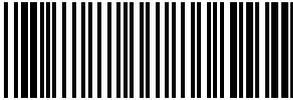
- データ編集文字挿入 (66 ページ) : データ編集しない→データの先頭に「ESC」を挿入する

① 設定開始	 設定開始
② 文字挿入セット 1 を選択	 セット 1
③ 文字挿入シンボルを全シンボルに設定	 全シンボル
④ 挿入開始位置を 1 文字目に設定	 1
⑤ 挿入開始位置の設定を確認	 挿入位置 設定完了
⑥ 挿入文字を「ESC」に設定	 ESC
⑦ 挿入文字の設定を確認	 挿入文字 設定完了
⑧ 設定終了	 設定終了
⑨ 現在の設定を保存	  設定保存

## 設定例 5 Code128 の読取り可能な最小桁数を変更する

本設定では以下の項目が変更されます。

- Code128 の読取り可能な最小桁数 (32 ページ) : 1 桁から読取り可能→5 桁から読取り可能

① 設定開始	 設定開始
② 読取り可能な最小桁数入力開始	 最小桁数 設定開始
③ 読取り可能な最小桁数を 5 桁に変更	 5
④ ②③の設定を Code128 に反映	 Code128/GS1-128 設定完了
⑤ 設定終了	 設定終了
⑥ 現在の設定を保存	  設定保存

## 設定例 6 Code39 の読取り可能な桁数を固定する

本設定では以下の項目が変更されます。2つめの固定桁数はスキップ可能です。

- Code39 の読取り可能な桁数を固定 (34 ページ) : 任意桁数→6桁と12桁のみ読取り可能

① 設定開始	 設定開始
② 読取り可能な固定桁数 1 つめ入力開始	 固定桁数 1 設定開始
③ 6桁に固定	 6
④ 読取り可能な固定桁数 1 つめ入力完了	 固定桁数 1 設定完了
⑤ 読取り可能な固定桁数 2 つめ入力開始	 固定桁数 2 設定開始
⑥ ↓	 1
⑦ 12桁に固定	 2
⑧ 読取り可能な固定桁数 2 つめ入力開始	 固定桁数 2 設定完了
⑨ 設定終了	 設定終了
⑩ 現在の設定を保存	  設定保存

## 5.1. システム設定

**カスタムデフォルト**：「設定保存」で登録されている設定値へ初期化します。通常はこちらを使用してください。

**工場出荷デフォルト**：全ての設定を工場出荷標準値へ初期化します。特に必要が無い場合は「カスタムデフォルト」を使用してください。

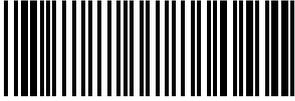
**設定開始**：スキャナの設定を開始します。

**設定終了**：スキャナの設定を終了します。

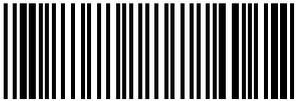
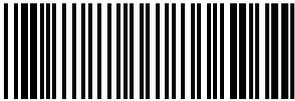
**設定中止**：スキャナの設定を中止します。

**設定保存**：スキャナの現在の設定を保存します。

**バージョン表示**：スキャナのバージョン情報をホストに表示します。このコマンドを使用する場合、スキャナとホストが正常に接続されていて、ホストで表示可能なアプリケーションが実行されている必要があります。

設定値の初期化	
 <b>1S</b> カスタムデフォルト	 <b>1S</b> 工場出荷デフォルト

設定用コマンド	
 設定開始	 設定終了
 設定中止	 <b>1S</b> 設定保存

バージョン表示	
 <b>1S</b> バージョン表示	



## 5.2. インターフェース設定

**USB モード\***：USB ケーブルを使用した標準の接続方法です。特別なアプリケーションを必要とせず、HID キーボードとして動作します。

**USB 仮想 COM モード**：USB ケーブル使用時、ホストに仮想シリアルポートを作成して接続する方法です。別途ドライバやシリアルポートを使用するためのアプリケーションが必要です。ドライバのインストール方法などは、ウェブページに掲載されております「MS250 用 USB 仮想 COM ドライバインストールマニュアル Vx.x」をご覧ください。

**キーボードウェッジモード**：キーボードウェッジケーブルを使用した接続方法です。

**RS232C モード**：RS232C ケーブルを使用した接続方法です。

**ワンドエミュレーション**：ワンドエミュレーションを使用します。

インターフェース設定	
 <b>1S</b> USB モード	 <b>1S</b> USB 仮想 COM モード
 キーボードウェッジモード	 <b>1S</b> RS232C モード
 <b>1S</b> ワンドエミュレーション	





## 5.3. キーボード設定

### キーボードレイアウト

ホストのキーボードレイアウトに合わせて変更してください。ホストのキーボードレイアウトとスキヤナのキーボードレイアウトが異なると、記号など一部の文字が正常に表示されません。

### Caps Lock 検知

ホストの CapsLock の状態を検知するかどうかを設定することができます。

**無効\***：Caps Lock の状態を検知せず、ホストの CapsLock の状態に従います。

**有効**：Caps Lock の状態を検知して、ホストの CapsLock の状態に関わらず、常に正しいバーコードデータで出力されます。

### 大文字/小文字の変換

読取ったバーコードデータを全て大文字または小文字で出力することができます。

**無効\***：大文字・小文字への変換を行いません。

**大文字**：全て大文字で出力します。

**小文字**：全て小文字で出力します。

### 文字間遅延

文字間遅延は、1つの文字を送った後に次の文字を送るまでに待機する時間です。スキヤナの送ったデータが正しくない場合や途中の文字が欠けてしまう場合は、文字間遅延を長めに設定すると解決することがあります。

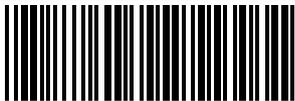
### テンキーパッドエミュレーション

読取った数字データをテンキーパッドでの入力データとして出力することができます。

**無効\***：テンキーパッドデータとして出力しません。

**有効**：テンキーパッドデータとして出力します。

キーボードレイアウト	
 日本語キーボード	 <b>1S</b> 英語キーボード

CapsLock 検知	
 <u>無効</u>	 有効

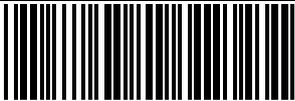




設定開始

キーボード設定 (続き)

大文字 / 小文字の変換	
 無効	
 大文字	 小文字

文字間遅延	
 <b>TS</b> 0 ミリ秒	 5 ミリ秒
 10 ミリ秒	 <b>TS</b> 25 ミリ秒
 50 ミリ秒	 100 ミリ秒
 200 ミリ秒	 300 ミリ秒

テンキーパッドエミュレーション	
 無効	 有効



設定終了

設定保存





## 5.4. RS232C 設定

### 通信速度

RS232C の通信速度を設定することができます。ホストに合わせてスキヤナを設定してください。この値が異なると、データが送信されなかったり、送信されたデータが文字化けしたりします。

### データビット

RS232C のデータビットを設定することができます。

### ストップビット

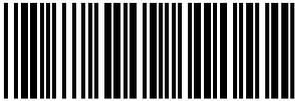
RS232C のストップビットを設定することができます。

### パリティ

RS232C のパリティを設定することができます。

### ハンドシェイク

RS232C のハンドシェイクを設定することができます。RTS/CTS、ACK/NAK、XON/XOFF の3つのハンドシェイクから選択してください。

通信速度	
 1200	 2400
 4800	 <u>9600</u>
 19200	 38400

データビット	
 7	 <u>8</u>





設定開始

RS232C 設定 (続き)

ストップビット	
 1	 2

パリティ	
 なし	
 偶数	 奇数

ハンドシェイク	
 RTS/CTS 無効	 RTS/CTS 有効
 ACK/NAK 無効	 ACK/NAK 有効
 XON/XOFF 無効	 XON/XOFF 有効



設定終了

設定保存



## 5.5. スキャナ動作設定

### 送信データフォーマットについて

スキャナで読取ったバーコードデータは次のフォーマットでホストに送信されます。サフィックスは標準で「Enter」が設定されています。

{プリフィックス} {コードID} [バーコードデータ] [サフィックス]

{ } — 初期設定では出力されません。出力するには設定が必要です。

[ ] — 初期設定で出力されます。

### コード ID

スキャナは、サポートしているバーコードシンボルに対して、あらかじめ決められたコード ID を持っています。バーコードの種類を調べたいときなどに使用してください。

### サフィックス

サフィックスを設定することができます。「STX-ETX」を指定した場合はプリフィックスに STX、サフィックスに ETX となります。

### スキャンモード

スキャナは 3 種類のスキャンモードをサポートしています。

**トリガー** — 標準のスキャンモードです。トリガーを押している間は読取光が照射され、バーコードを読取るかトリガーを放すと停止します。

**1 プレス 1 スキャン** — トリガーを押すと読取光の照射が開始され、バーコードを読取るか 5 秒程度の時間経過で停止します。

**連続** — 読取光が連続照射し続けます。トリガーを押すと連続照射が開始され、もう一度トリガーを押すと停止します。

**連続 (トリガー無効)** — 照射光が連続照射し続けます。トリガーが無効になり、連続照射を停止することはできません。

**点滅** — 読取光が点滅し続けます。トリガーを押すと点滅が開始され、もう一度トリガーを押すと停止します。

**点滅 (トリガー無効)** — 照射光が点滅し続けます。トリガーが無効になり、点滅を停止することはできません。

### ビープ音

ビープ音の音程を設定することができます。ボリューム自体の変更はサポートしていませんが、「高」より「低」のほうが音の聞こえ方は小さくなります。

## スキャナ動作設定 (続き)

### 冗長チェック

1 回の読取りでバーコードを複数回読取ってチェックを行なうよう設定することができます。2 回に設定した場合は 3 回以上読取って 2 回連続でデータが一致した場合のみ出力します。

誤読を避けるため 1 回以上に設定することをお勧めいたします。

### 同一バーコードの読取り間隔

同一バーコードの読取り間隔を設定することができます。この設定はスキャンモードが連続または点滅の場合に使用できます。設定範囲 100 ミリ秒単位で 1~50 です。初期値は 5 (500 ミリ秒) です。

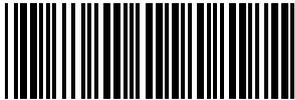
1 秒に設定したい場合は、「設定開始」→ 数字バーコード (84 ページ) から「1」「0」→「設定完了」の順に行ってください。

### コード ID 一覧表

コード ID	バーコードシンボル	コード ID	バーコードシンボル
A	UPC-A	N	Codabar/NW-7
E	UPC-E	L	Code 93
FF	JAN-8	L	Code 11
F	JAN-13	O	MSI
M	Code 39	P	PLESSEY
K	Code 128/GS1-128	U	GS1 Databar
I	Interleaved 2 of 5	V	GS1 Databar Limited
H	Industrial 2 of 5	W	GS1 Databar Expanded
I	Matrix 2 of 5		



スキャナ動作設定 (続き)

コード ID	
 <b>1S</b> 送信する	 <b>1S</b> 送信しない

サフィックス	
 「Enter」 + 「Ctrl+J」 / CR+LF	 なし
 <b>1S</b> 「Enter」 / CR	 <b>1S</b> 「Ctrl+J」 / LF
 スペース	 「TAB」 / HT
 「Ctrl+B」 - 「Ctrl+C」 / STX-ETX	

注 「/」の左がUSBモードとキーボードウェッジモード時、右がRS232CモードとUSB仮想COMモード時に送信されます。

スキャンモード	
 <b>1S</b> トリガー	 1プレス1スキャン
 連続	 連続 (トリガー無効)
 <b>1S</b> 点滅	 点滅 (トリガー無効)





設定開始

スキャナ動作設定 (続き)

ビープ音	
 1S なし	 低
 1S 中	 高

冗長チェック	
 しない	 1 回
 2 回	 3 回

同一バーコードの読取り間隔	
 設定開始	 設定完了

注 1 秒に設定したい場合は、「設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) から「1」「0」→「設定完了」の順に行ってください。



設定終了

設定保存



## 5.6. バーコード読取設定

### バーコード設定初期値一覧表

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
白黒反転バーコードの読取り	無効	32
Code39 の読取り	有効	34
Code39 のフォーマット	標準フォーマット	34
Code39 のチェックデジット	計算しない	34
Code39 のスタート・ストップ文字	送信しない	34
Code39 の読取り可能な桁数	任意桁数	34
Code39 の読取り可能な最小桁数	1	32
Italian Pharmacy/Code32 の読取り	無効	34
Code93 の読取り	無効	37
Code93 のチェックデジット	計算しない	37
Code93 の読取り可能な桁数	任意桁数	37
Code93 の読取り可能な最小桁数	1	32
Code128/GS1-128 の読取り	有効	39
「]C1」コード	無効	39
Code128 の読取り可能な桁数	任意桁数	39
Code128 の読取り可能な最小桁数	1	32
UPC-A の読取り	有効	41
UPC-E の読取り	有効	41
JAN-13 の読取り	有効	41
JAN-8 の読取り	有効	41
ISBN-13 の読取り	無効	41
ISSN の読取り	無効	41
UPC-A のチェックデジット	送信する	41
UPC-E のチェックデジット	送信する	41
JAN-13 のチェックデジット	送信する	41
JAN-8 のチェックデジット	送信する	41
ISSN のチェックデジット	送信する	41
アドオンコードの読取り	自動認識	41
アドオンコードの送信	送信しない	41
UPC-A を JAN-13 に拡張	無効	41
UPC-E を UPC-A に拡張	無効	41
JAN-8 を JAN-13 に拡張	無効	41

バーコード設定初期値一覧（続き）

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
Codabar/NW-7 の読取り	有効	45
Codabar/NW-7 のスタート・ストップ文字	送信しない	45
スタート文字制限	A/B/C/D	45
ストップ文字制限	A/B/C/D	45
Codabar/NW-7 の読取り可能な桁数	任意桁数	45
Codabar/NW-7 の読取り可能な最小桁数	3.	32
Interleaved 2 of 5 の読取り	有効	48
Interleaved 2 of 5 のチェックデジット	計算しない	48
文字数制限	偶数	48
Interleaved 2 of 5 の読取り可能な桁数	任意桁数	48
Interleaved 2 of 5 の読取り可能な最小桁数	4	32
Industrial 2 of 5 の読取り	無効	50
IATA 2 of 5 の読取り	無効	50
Industrial 2 of 5 のチェックデジット	計算しない	50
Industrial 2 of 5 の読取り可能な桁数	任意桁数	50
Industrial 2 of 5 の読取り可能な最小桁数	2	32
Matrix 2 of 5 の読取り	無効	52
Matrix 2 of 5 のチェックデジット	計算しない	52
Matrix 2 of 5 の読取り可能な桁数	任意桁数	52
Matrix 2 of 5 の読取り可能な最小桁数	4	32
Code11 の読取り	無効	54
Code11 のチェックデジット	計算しない	54
Code11 の読取り可能な桁数	任意桁数	54
Code11 の読取り可能な最小桁数	2	32
MSI/PLESSEY の読取り	無効	56
MSI/PLESSEY のチェックデジット	計算する&送信しない	56
MSI/PLESSEY の読取り可能な桁数	任意桁数	56
MSI/PLESSEY の読取り可能な最小桁数	3	32

## バーコード設定初期値一覧（続き）

バーコードシンボル	標準パラメータ	掲載ページ
GS1 Databar の読取り	無効	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Limited の読取り	無効	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Expanded の読取り	無効	<a href="#">58</a>
GS1 Databar のチェックデジット	送信する	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Limited のチェックデジット	送信する	<a href="#">58</a>
GS1 Databar のアプリケーションID	送信する	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Limited のアプリケーションID	送信する	<a href="#">58</a>
GS1 Databar のシンボルID	送信しない	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Limited のシンボルID	送信しない	<a href="#">58</a>
GS1 Databar Expanded のシンボルID	送信しない	<a href="#">58</a>

## 全てのバーコードの読取り

全てのバーコードの読取を有効化することができます。

## 白黒反転バーコードの読取り

白と黒が反転したバーコードの読取りを設定することができます。反転バーコードの読取ったときに誤読しやすい場合は、[冗長チェック](#)（27 ページ）を多めに設定してください。

## 各バーコードシンボル読取り可能な最小桁数

設定可能な各バーコードシンボルの読取り可能な最小桁数を設定することができます。

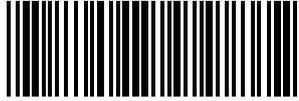


設定開始

unitech

全てのバーコードの読取り	
 全バーコードシンボル有効	

白黒反転バーコードの読取り	
 <u>無効</u>	 有効

読取り可能な最小桁数	
 最小桁数 設定開始	
 Code39 設定完了	 Code93 設定完了
 Code128/GS1-128 設定完了	 Codabar/NW-7 設定完了
 Interleaved 2 of 5 設定完了	 Industrial 2 of 5 設定完了
 Matrix 2 of 5 設定完了	 Code11 設定完了
 MSI/PLESSEY 設定完了	

注 設定方法：「最小桁数 設定開始」→「[数字バーコード](#) (78 ページ)」→「XXXX 設定完了」

注 [Code128 の設定例](#) (18 ページ) をご参考ください。



設定終了

33

設定保存



## Code39

### Code39 の読取り

**有効\***：Code39 の読取りを行ないます。

**無効**：Code39 の読取りを行ないません。

### Italian Pharmacy/Code32 の読取り

**有効**：Italian Pharmacy/Code32 の読取りを行ないます。

**無効\***：Italian Pharmacy/Code32 の読取りを行ないません。

### Code39 のフォーマット

**標準フォーマット\***：標準の設定です。

**フル ASCII フォーマット**：2 つの文字の組み合わせで1 つの文字を表現する特別な設定です。

### Code39 のチェックデジット (CD)

**計算しない\***：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信する**：CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**計算する&送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### Code39 のスタート・ストップ文字 (ST/SP 文字)

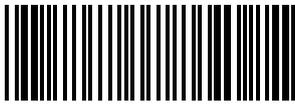
**送信する**：バーコードの先頭と末尾にある ST/SP 文字を送信します。ST/SP 文字は「\*」です。

**送信しない\***：バーコードの先頭と末尾にある ST/SP 文字を送信しません。

### Code39 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Code39 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は1～254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。

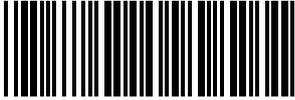


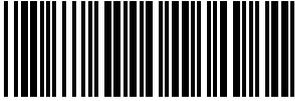
設定開始

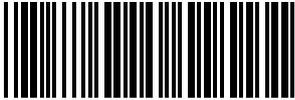
Code 39 (続き)

Code39 の読取り	
 無効	 有効

Italian Pharmacy / Code32 の読取り	
 無効	 有効

Code39 のフォーマット	
 標準フォーマット	 フル ASCII フォーマット

Code39 のチェックデジット	
 計算しない	 計算する & 送信する
 計算する & 送信しない	

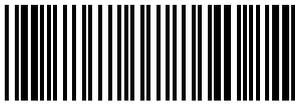
Code39 のスタート・ストップ文字	
 送信しない	 送信する



設定終了

設定保存





設定開始

Code39 (続き)

Code39 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## Code93

### Code93 の読取り

**有効**：Code93 の読取りを行ないます。

**無効\***：Code93 の読取りを行ないません。

### Code93 のチェックデジット (CD)

**計算しない\***：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### Code93 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Code93 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を2つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は1～254です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

### Code93 (続き)

Code93 の読取り	
 無効	 有効

Code93 のチェックデジット	
 計算しない	 計算する&送信しない

Code93 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## Code128/GS1-128

### Code128/GS1-128 の読取り

**有効\***：Code128 の読取りを行ないます。

**無効**：Code128 の読取りを行ないません。

### 「JCI」コード

**有効**：GS1-128 読み取り時、データの先頭に「JCI」コードを送信します。

**無効\***：「JCI」コードを送信しません。

### Code128/GS1-128 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Code128/GS1-128 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を2つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は1～254です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

Code128/GS1-128 (続き)

Code128/GS1-128 の読取り	
 無効	 有効

JCI コード	
 無効	 有効

Code128 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## UPC/JAN

### UPC-A/UPC-E/JAN-13/JAN-8 の読取り

**有効\***：UPC-A/UPC-E/JAN-13/JAN-8 の読取りを行ないます。

**無効**：UPC-A/UPC-E/JAN-13/JAN-8 の読取りを行ないません。

### ISBN-13/ISSN の読取り

**有効**：ISBN-13/ISSN の読取りを行ないます。

**無効\***：ISBN-13/ISSN の読取りを行ないません。

### UPC-A/UPC-E/JAN-13/JAN-8/ISSN のチェックデジット (CD)

**送信する\***：CD の計算を行い CD を送信します。

**送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。

### アドオンコードの読取り

**必須**：アドオンコードのない UPC/JAN コードの読取りは行ないません。アドオンコードの送信が「送信しない」に設定されている場合は使用できません。

**自動認識\***：アドオンコードを自動的に認識して読取りを行ないます。

### アドオンコードの送信

**送信しない\***：アドオンコードを送信しません。

**2桁のみ送信する**：2桁のアドオンコードのみ送信します。

**5桁のみ送信する**：5桁のアドオンコードのみ送信します。

**2桁と5桁を送信する**：2桁と5桁のアドオンコードを送信します。

### UPC-A を JAN-13 に拡張

**有効**：12桁の UPC-A を 13桁の JAN-13 として送信します。

**無効\***：UPC-A から JAN-13 への拡張を行ないません。

### UPC-E を UPC-A に拡張

**有効**：8桁の UPC-E を 12桁の UPC-A として送信します。

**無効\***：UPC-E から UPC-A への拡張を行いません。

### JAN-8 を JAN-13 に拡張

**有効**：8桁の JAN-8 を 13桁の JAN-13 として送信します。

**無効\***：JAN-8 から JAN-13 への拡張を行いません。



設定開始

unitech

UPC/JAN (続き)

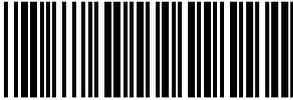
UPC-A の読取り	
 無効	 有効

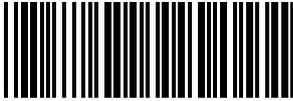
UPC-E の読取り	
 無効	 有効

JAN-13 の読取り	
 無効	 有効

JAN-8 の読取り	
 無効	 有効

ISBN の読取り	
 ISBN-10	 ISBN-13

ISSN の読取り	
 無効	 有効

UPC-A のチェックデジット	
 送信しない	 送信する



設定終了

設定保存





UPC/JAN (続き)

UPC-E のチェックデジット	
送信しない	送信する

JAN-13 のチェックデジット	
送信しない	送信する

JAN-8 のチェックデジット	
送信しない	送信する

ISSN のチェックデジット	
送信しない	送信する

アドオンコードの読取り	
必須	自動認識

アドオンコードの送信	
送信しない	2桁のみ送信する
5桁のみ送信する	2桁と5桁を送信する





設定開始

UPC/JAN (続き)

UPC-A を JAN-13 に拡張	
 無効	 有効

UPC-E を UPC-A に拡張	
 無効	 有効

JAN-8 を JAN-13 に拡張	
 無効	 有効



設定終了

設定保存



## Codabar/NW-7

### Codabar/NW-7 の読取り

**有効\***：Codabar の読取りを行ないます。

**無効**：Codabar の読取りを行ないません。

### Codabar/NW-7 のスタート・ストップ文字 (ST/SP 文字)

**送信する**：バーコードの先頭と末尾にある ST/SP 文字を送信します。ST/SP 文字は「A/B/C/D」のいずれかです。

**送信しない\***：バーコードの先頭と末尾にある ST/SP 文字を送信しません。

### スタート文字制限

本設定は、Codabar/NW-7 のスタート・ストップ文字を「送信しない」場合は無視されます。本設定は、スタート文字制限とストップ文字制限、両方の条件を満たした場合に使用されます。

**A/B/C/D\***：スタート文字が A、B、C または D のとき、スタート文字を送信します。

**A**：スタート文字が A のとき、スタート文字を送信します。

**B**：スタート文字が B のとき、スタート文字を送信します。

**C**：スタート文字が C のとき、スタート文字を送信します。

**D**：スタート文字が D のとき、スタート文字を送信します。

### ストップ文字制限

本設定は、Codabar/NW-7 のスタート・ストップ文字を「送信しない」場合は無視されます。本設定は、スタート文字制限とストップ文字制限、両方の条件を満たした場合に使用されます。

**A/B/C/D\***：ストップ文字が A、B、C または D のとき、ストップ文字を送信します。

**A**：ストップ文字が A のとき、ストップ文字を送信します。

**B**：ストップ文字が B のとき、ストップ文字を送信します。

**C**：ストップ文字が C のとき、ストップ文字を送信します。

**D**：ストップ文字が D のとき、ストップ文字を送信します。

### Codabar/NW-7 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Codabar/NW-7 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を 2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は 1～254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

Codabar/NW-7 (続き)

Codabar/NW-7 の読取り	
 無効	 有効

Codabar/NW-7 のスタート・ストップ文字	
 送信しない	 送信する

スタート文字制限	
 A/B/C/D	
 A	 B
 C	 D

ストップ文字制限	
 A/B/C/D	
 A	 B
 C	 D



設定終了

設定保存





設定開始

Codabar/NW-7 (続き)

Codabar/NW-7 の読取り可能な桁数	
 任意桁数 設定開始	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## Interleaved 2 of 5 (ITF)

### Interleaved 2 of 5 の読取り

**有効\***：Interleaved 2 of 5 の読取りを行ないます。

**無効**：Interleaved 2 of 5 の読取りを行ないません。

### Interleaved 2 of 5 のチェックデジット (CD)

**計算しない\***：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信する**：CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**計算する&送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### 文字数制限

**偶数\***：バーコードの文字数が偶数の場合のみ読み取ります。

**奇数**：バーコードの文字数が奇数の場合のみ読み取ります。

### Interleaved 2 of 5 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Interleaved 2 of 5 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を 2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は 1～254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。

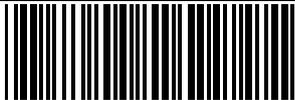


Interleaved 2 of 5 (続き)

Interleaved 2 of 5 の読取り	
 無効	 有効

Interleaved 2 of 5 のチェックデジット	
 計算しない	 計算する&送信する
 計算する&送信しない	

文字数制限	
 偶数	 奇数

Interleaved 2 of 5 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」  
 注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



## Industrial 2 of 5

### Industrial 2 of 5 の読取り

**有効** : Industrial 2 of 5 の読取りを行ないます。

**無効\*** : Industrial 2 of 5 の読取りを行ないません。

### IATA 2 of 5 の読取り

**有効** : IATA 2 of 5 の読取りを行ないます。

**無効\*** : IATA 2 of 5 の読取りを行ないません。

### Industrial 2 of 5 のチェックデジット (CD)

**計算しない\*** : CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信する** : CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**計算する&送信しない** : CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### Industrial 2 of 5 の読取り可能な桁数

**任意桁数\*** : 読取り可能な桁数を設定せず、全ての Industrial 2 of 5 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数** : 読取り可能な桁数を 2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は 1 ~ 254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

### Industrial 2 of 5 (続き)

Industrial 2 of 5 の読取り	
 無効	 有効

IATA 2 of 5 の読取り	
 無効	 有効

Industrial 2 of 5 のチェックデジット	
 計算しない	 計算する&送信する
 計算する&送信しない	

Industrial 2 of 5 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」  
 注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## Matrix 2 of 5

### Matrix 2 of 5 の読取り

**有効**：Matrix 2 of 5 の読取りを行ないます。

**無効\***：Matrix 2 of 5 の読取りを行ないません。

### Matrix 2 of 5 のチェックデジット (CD)

**計算しない\***：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信する**：CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**計算する&送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### Matrix 2 of 5 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Matrix 2 of 5 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を2つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は1～254です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

### Matrix 2 of 5 (続き)

Matrix 2 of 5 の読取り	
 無効	 有効

Matrix 2 of 5 のチェックデジット	
 計算しない	 計算する&送信する
 計算する&送信しない	

Matrix 2 of 5 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## Code11

### Code11 の読取り

**有効**：Code11 の読取りを行ないます。

**無効\***：Code11 の読取りを行ないません。

### Code11 のチェックデジット (CD)

**計算しない\***：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**1 桁計算する&送信する**：1 桁の CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**1 桁計算する&送信しない**：1 桁の CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**2 桁計算する&送信する**：2 桁の CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**2 桁計算する&送信しない**：2 桁の CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### Code11 の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての Code11 を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を 2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は 1～254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

### Code11 (続き)

Code11 の読取り	
 無効	 有効

Code11 のチェックデジット	
 計算しない	
 1桁計算する&送信する	 1桁計算する&送信しない
 2桁計算する&送信する	 2桁計算する&送信しない

Code11 の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## MSI/PLESSEY

### MSI/PLESSEY の読取り

**有効**：MSI/PLESSEY の読取りを行ないます。

**無効\***：MSI/PLESSEY の読取りを行ないません。

### MSI/PLESSEY のチェックデジット (CD)

**計算しない**：CD の計算を行ないません。CD は通常文字として処理され送信します。

**計算する&送信する**：CD の計算を行ない CD を送信します。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

**計算する&送信しない\***：CD の計算を行ない CD を送信しません。CD のないバーコードは読取ることができなくなります。

### MSI/PLESSEY の読取り可能な桁数

**任意桁数\***：読取り可能な桁数を設定せず、全ての MSI/PLESSEY を読取ります。本設定を行なった場合、「固定桁数」は無効になります。

**固定桁数**：読取り可能な桁数を 2 つまで固定値で設定することができます。設定可能な値は 1～254 です。本設定を行なった場合、「任意桁数」は無効になります。



設定開始

MSI/PLESSEY (続き)

MSI/PLESSEY の読取り	
 無効	 有効

MSI/PLESSEY のチェックデジット	
 計算しない	 計算する&送信する
 計算する&送信しない	

MSI/PLESSEY の読取り可能な桁数	
 任意桁数	
 固定桁数 1 設定開始	 固定桁数 1 設定完了
 固定桁数 2 設定開始	 固定桁数 2 設定完了

注 設定方法：「固定桁数 X 設定開始」→ [数字バーコード](#) (78 ページ) 「固定桁数 X 設定完了」

注 [Code39 の設定例](#) (19 ページ) ご参考ください。



設定終了

設定保存



## GS1 Databar

### GS1 Databar/GS1 Databar Limited/GS1 Databar Expanded の読取り

**有効**：GS1 Databar/GS1 Databar Limited/GS1 Databar Expanded の読取りを行いません。

**無効\***：GS1 Databar/GS1 Databar Limited/GS1 Databar Expanded の読取りを行いません。

### GS1 Databar/GS1 Databar Limited のチェックデジット (CD)

**送信する\***：CD の計算を行い CD を送信します。

**送信しない**：CD の計算を行ない CD を送信しません。

### GS1 Databar/GS1 Databar Limited のアプリケーション ID (AI)

**送信する\***：AI を送信します。

**送信しない**：AI を送信しません。

### GS1 Databar/GS1 Databar Limited/GS1 Databar Expanded のシンボル ID

**送信する**：シンボル ID 「]e0」 を送信します。

**送信しない\***：シンボル ID 「]e0」 を送信しません。

注 スタック型のバーコードを読取るときは、上下に分かれているバーコードを上から下または、下から上へなぞるように読取ってください。



設定開始

GS1 Databar (続き)

GS1 Databar の読取り	
 無効	 有効

GS1 Databar のチェックデジット	
 送信する	 送信しない

GS1 Databar のアプリケーション ID	
 送信する	 送信しない

GS1 Databar のシンボル ID	
 送信する	 送信しない



設定終了

設定保存

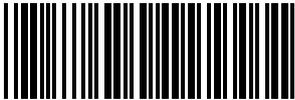




設定開始



GS1 Databar (続き)

GS1 Databar Limited の読取り	
 無効	 有効

GS1 Databar Limited のチェックデジット	
 送信する	 送信しない

GS1 Databar Limited のアプリケーション ID	
 送信する	 送信しない

GS1 Databar Limited のシンボル ID	
 送信する	 送信しない



設定終了

設定保存





設定開始

GS1 Databar (続き)

GS1 Databar Expanded の読取り	
 無効	 有効

GS1 Databar Expanded のシンボル ID	
 送信する	 送信しない



設定終了

設定保存





## 6. データ編集機能

### 6.1. 反転出力

読取ったバーコードデータを逆順に出力します。1234 というバーコードを読取った場合、4321 として出力されます。

反転出力	
 無効	 有効



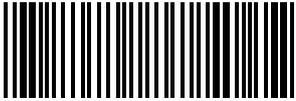
## 6.2. 文字削除

任意の文字数を指定してバーコードデータ内の文字を削除して出力することができます。この編集設定は、「セット1」から「セット6」の6つの設定セットを保存して同時に使用することができます。

文字削除を設定するためには、以下の手順で行なってください。

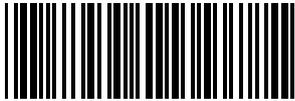
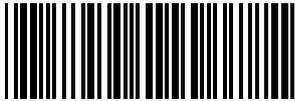
### ①. 設定を開始する

「設定開始」バーコードを読取ってください。

設定を開始する（文字削除）	
 設定開始	

### ②. 設定セットを選択する

「セット1」から「セット6」までの6つの設定セットのいずれかを読取ってください。

設定セットを選択する（文字削除）	
 セット1	 セット2
 セット3	 セット4
 セット5	 セット6

### ③. バーコードシンボルを選択する

次のバーコードシンボル一覧からデータ編集の対象とするバーコードシンボルを1つ読取ってください。複数のバーコードシンボルを使用したい場合は、複数の設定セットを使用してください。

バーコードシンボルを選択する (文字削除)	
 Code 39	 Code 93
 Code 128	 UPC-A
 UPC-E	 JAN-13
 JAN-8	 Codabar (NW-7)
 Interleaved 2 of 5 (ITF)	 Industrial 2 of 5
 Matrix 2 of 5	 Code 11
 MSI/PLESSEY	 GS1 Databar
 GS1 Databar Limited	 GS1 Databar Expanded
 全シンボル	

#### ④. 削除開始位置を指定する

削除を開始する任意の位置を複数の**数字バーコード**（78 ページ）を使用して指定してください。設定範囲は 1～99 です。

削除を開始する位置を指定したあと「**削除位置 設定完了**」バーコードを読取ってください。

削除開始位置の設定を完了する（文字削除）	
 削除位置 設定完了	

#### ⑤. 削除する文字数を指定する

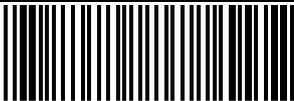
削除する文字数を複数の**数字バーコード**（78 ページ）を使用して指定してください。設定範囲は 1～99 です。

削除する文字数を指定したあと「**削除文字数 設定完了**」バーコードを読取ってください。

削除文字数の設定を完了する（文字削除）	
 削除文字数 設定完了	

#### ⑥. 設定を終了する

「**設定終了**」バーコードを読取ってください。

設定を終了する（文字削除）	
 設定終了	

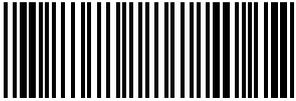
## 6.3. 文字挿入

特定の文字をバーコードデータの任意の位置に挿入して出力することができます。この編集設定は、「セット1」から「セット6」の6つの設定セットを保存して同時に使用することができます。

文字挿入を設定するためには、以下の手順で行なってください。

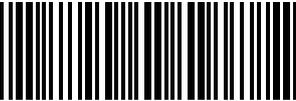
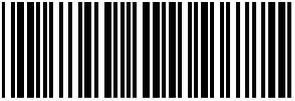
### ①. 設定を開始する

「設定開始」バーコードを読取ってください。

設定を開始する（文字挿入）	
 設定開始	

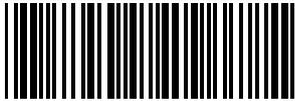
### ②. 設定セットを選択する

「セット1」から「セット6」までの6つの設定セットのいずれかを読取ってください。

設定セットを選択する（文字挿入）	
 セット1	 セット2
 セット3	 セット4
 セット5	 セット6

### ③. バーコードシンボルを選択する

次のバーコードシンボル一覧からデータ編集の対象とするバーコードシンボルを1つ読取ってください。複数のバーコードシンボルを使用したい場合は、複数の設定セットを使用してください。

バーコードシンボルを選択する (文字挿入)	
 Code 39	 Code 93
 Code 128	 UPC-A
 UPC-E	 JAN-13
 JAN-8	 Codabar (NW-7)
 Interleaved 2 of 5 (ITF)	 Industrial 2 of 5
 Matrix 2 of 5	 Code 11
 MSI/PLESSEY	 GS1 Databar
 GS1 Databar Limited	 GS1 Databar Expanded
 全シンボル	

#### ④. 挿入開始位置を指定する

挿入を開始する任意の位置を複数の**数字バーコード**（78 ページ）を使用して指定してください。設定範囲は 1～99 です。バーコードデータの末尾に文字を挿入したい場合は 99 を指定してください。

挿入を開始する位置を指定したあと「**挿入位置 設定完了**」バーコードを読取ってください。

挿入開始位置の設定を完了する（文字挿入）	
 挿入位置 設定完了	

#### ⑤. 挿入する文字を指定する

挿入する文字を **ASCII テーブル**（71 ページ）から選択して指定してください。最大 8 文字使用できます。

挿入する文字を指定したあと「**挿入文字 設定完了**」バーコードを読取ってください。

挿入文字の設定を完了する（文字挿入）	
 挿入文字 設定完了	

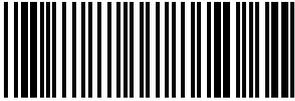
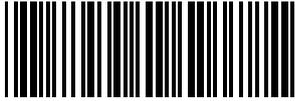
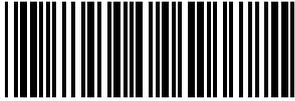
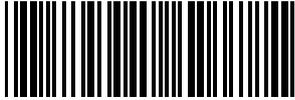
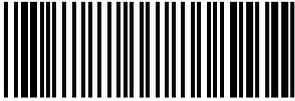
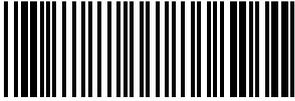
#### ⑥. 設定を終了する

「**設定終了**」バーコードを読取ってください。

設定を終了する（文字挿入）	
 設定終了	

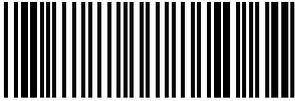
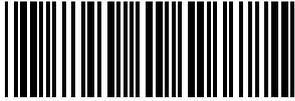
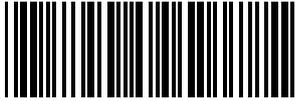
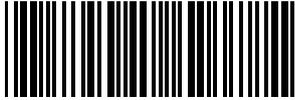
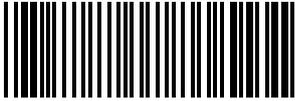
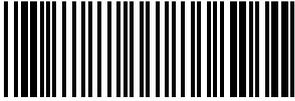
## 6.4. データ編集設定の消去（文字削除）

文字削除のデータ編集設定を消去する場合は、以下のバーコードを読取ってください。

文字削除セットの消去	
① 設定開始	 設定開始
② 初期化したいセット番号 (63 ページ)	 セット 1
③ バーコードシンボル初期化	 UPC-A
④ 削除位置初期化	 削除位置 設定完了
⑤ 削除文字数初期化	 削除文字数 設定完了
⑥ 設定終了	 設定終了
⑦ 現在の設定を保存	  設定保存

## 6.5. データ編集設定の消去（文字挿入）

文字挿入のデータ編集設定を消去する場合は、以下のバーコードを読取ってください。

文字削除セットの消去	
① 設定開始	 設定開始
② 初期化したいセット番号（66 ページ）	 セット 1
③ バーコードシンボル初期化	 UPC-A
④ 挿入位置初期化	 挿入位置 設定完了
⑤ 挿入文字初期化	 挿入文字 設定完了
⑥ 設定終了	 設定終了
⑦ 現在の設定を保存	  設定保存

# 7. ASCII テーブル

## 制御コード



NUL



VT



SYN



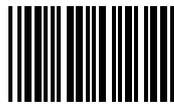
SOH



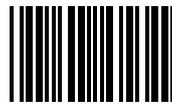
FF



ETB



STX



CR (ENTER)



CAN



ETX



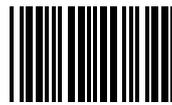
SO



EM



EOT



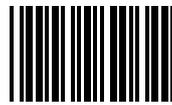
SI



SUB



ENQ



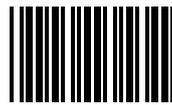
DLE



ESC



ACK



DC1



FS



BEL



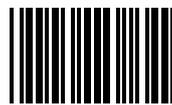
DC2



GS



BS



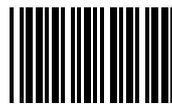
DC3



RS



HT (TAB)



DC4



US



LF



NAK



DEL

アルファベット (大文字)



A



J



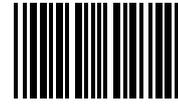
S



B



K



T



C



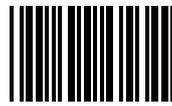
L



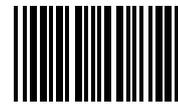
U



D



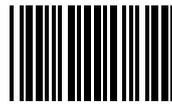
M



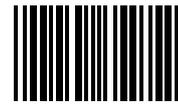
V



E



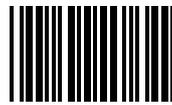
N



W



F



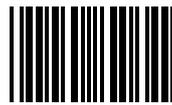
O



X



G



P



Y



H



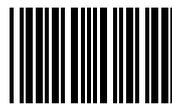
Q



Z



I



R

アルファベット (小文字)



a



j



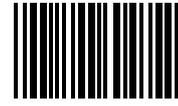
s



b



k



t



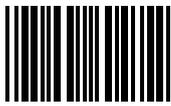
c



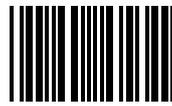
l



u



d



m



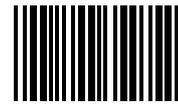
v



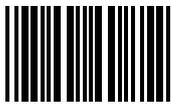
e



n



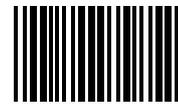
w



f



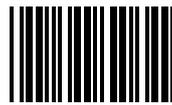
o



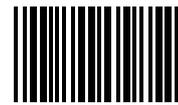
x



g



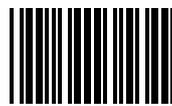
p



y



h



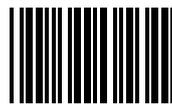
q



z



i



r

## 数字

注 パラメータ設定用の数字バーコード (78 ページ) ではありません。



0



1



2



3



4



5



6



7



8

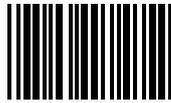


9

記号文字



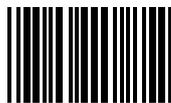
スペース



!



“



#



\$



%



&



’



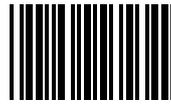
(



)



\*



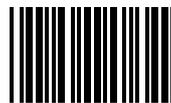
+



,



-



.



/



:



;



<



=



>



?



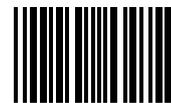
@



[



¥



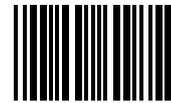
]



^



\_



`



{



|



}



~

ファンクションキー



F1



F7



F2



F8



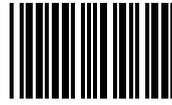
F3



F9



F4



F10



F5



F11



F6



F12

拡張キー



Insert



End



Delete



←



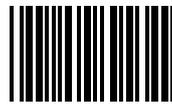
Home



→



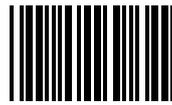
Page Up



↑



Page Down



↓

## 8. 数字バーコード



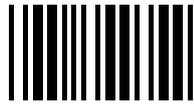
1



3



5



7



9



2



4



6



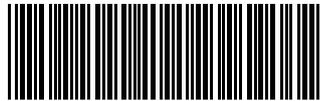
8



0

# 9. テストバーコード

Code 39



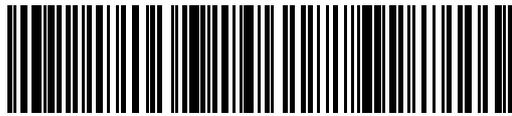
UNITECHE

Code 128



Unitech128

GS1-128



(01)1234567890128(17)131101(10)AB

UPC-A



047669137166

UPC-E



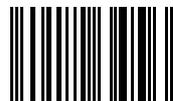
01234572

JAN-13



4912345678904

JAN-8



49123456

Codabar (NW-7)



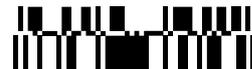
22357000599877

Interleaved 2 of 5 (ITF)



12345678901231

GS1 Databar Stacked



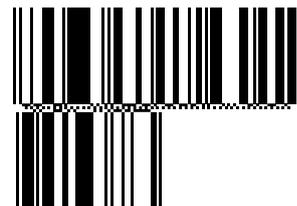
(01)98765432109879

GS1 Databar Limited



(01)13579246801350

GS1 Databar Expanded



(01)95012345678903(3103)000123